

船舶事故等調査報告書

平成22年2月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009那第87号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年9月8日 11時00分ごろ	
発生場所	沖縄県阿波連漁港 阿波連港防波堤灯台から真方位113°30m付近 (概位 北緯26°10.0′ 東経127°20.8′)	
事故等調査の経過	平成21年11月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 引き船 第58 明祥丸、19トン 296-20639 沖縄、株式会社内間土建 B 台船 第6 内間、890トン なし、株式会社内間土建	
乗組員等に関する情報	A 船長、一級小型船舶操縦士 B なし	
死傷者等	なし	
損傷	A 推進器翼曲損 B なし	
事故等の経過	A船は、船長が単独で乗り組み、船首約1.0m、船尾約2.5mの喫水で、捨て石約600トン積載したB船をえい航して阿波連漁港に入港作業中、B船が防波堤に接触しそうになったので、それを防ごうとしてA船を操船したところ、平成21年9月8日11時00分ごろ、A船の船尾船底が浅瀬に乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北、風力 2 海象：潮汐 下げ潮中央期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船が、B船をえい航して阿波連漁港で入港作業を行う際、B船が港口北側の防波堤に接触しないように通常よりも浅瀬に接近し過ぎたものと考えられる。
原因	本事故は、A船が、B船をえい航して阿波連漁港で入港作業を行う際、B船が港口北側の防波堤に接触しないように通常よりも陸岸寄りを航行したため、浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	